

平成30年度9月号 [9月21日(発行)]



東風だより

川口市立東中学校
川口市東本郷2-20-47番地
TEL 048-281-4065
特別支援学級 285-2423
さわやか相談室 281-4627
<http://www.sch.kawaguchi.saitama.jp/higashi-j/>

この夏のちょっと良い話

校長 安部正幸

この夏は、例年になく猛暑でした。加えて西日本豪雨や逆行した台風12号、最大級のまま上陸した台風21号により各地で災害が発生しました。さらに、この6日未明には、最大震度7を記録する北海道胆振東部地震が発生し、多くの災害に見舞われた夏になってしまったと感じています。そのような中でもさわやかではありますが、私の身近にあったちょっと良い話を二つ紹介したいと思います。

猛暑の熊谷にて

陸上競技の県大会。女子800m予選の時、スタンドのベンチに座っていると、前に座っている女子生徒が大きな声で応援しているのに気づきました。市内の他の中学校の選手に対しての応援でした。その中学校からは二人の選手が出場していたので、当然私はその中学校の生徒だと思っていました。ところが東中の選手が走り出すと、東中の選手の名前を叫びながら「ファイト!」「ラスト!」と、これまでの選手と同じように応援してくれていました。東中の選手が走り終わると、保護者の方と一緒に帰って行きました。どこの中学校の生徒なのか分かりませんが、川口市の選手に向かって応援していたので、市内の中学校の生徒だと思われます。後になってお礼を言えばよかったと思いました。この日は暑い日でしたが、とてもさわやかな気持ちで会場を後にすることができました。なお、その翌日熊谷は41.1℃という日本最高となる気温を記録しました。

さいたま市文化センターにて

埼玉県合唱連盟主催の合唱コンクール。総合文化部と吹奏楽部有志による合同チームが発表するので、それより少し早めに会場に入りました。その前に出場した学校の発表を聞くと、どこも十分な練習を積んできた立派な発表が続きました。思えば、総合文化部は家庭科部の歴史を引き継ぎつつ、この4月にスタートしたばかりの部です。聞けば合唱の本格的な練習は夏休みに入ってからのこと。他の中学校と同じ発表ができるのか少々不安になりました。しかし、東中の発表が始まると、そんな心配は無用のものとなりました。生徒たちの会場に響きわたる声、豊かな表情は、これまで発表した学校にも負けない素晴らしいもので感動すら覚えました。これだけの短期間でよく仕上げたものだと感心しました。この夏は、総合文化部だけでなく、総合科学部も初めて「科学の甲子園埼玉県大会」や「川口理科オリンピック」に出場しました。どうしても運動部の大会が目立つ中で、文化部のこのような地道な活躍は高く評価できるものと思います。東中にまた新たな歴史が刻まれました。文化部の活躍でいよいよ東中の部活動も本物と言えるようになってきたと思っています。